

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
Tel.093-331-6395(交通部安全対策課)

第210号令和6年9月号



BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

バッテリーの過放電にご注意

バッテリーがあがって、
どうにもできんばい！

事件事例

令和6年8月、プレジャーボートが、
洋上にて**エンジン**を止めた状態で
釣りを始めました。
釣場を移動するため、
エンジンを始動しようとしたが、
始動できず、118番通報を実施し、その後、
救助されました。

*なお、船長は数か月前からバッテリーが
劣化していることを知っていました。

バッテリーの事故を防ぐために注意すること

1. 燃料節約のための「エンジン停止」に注意

エンジンを止めるとバッテリーへ充電がされなくなります。
燃料節約のためにエンジンを停止する方は、
予備バッテリーを持って行くなど、万が一に備えましょう。

2. 出航前点検「バッテリー電圧」を確認

出航前に電圧計で電圧を確認し、電圧が低い場合は充電しましょう。
また、電解液比重計も確認しましょう。



3. 出航前点検「バッテリー液面」を確認

出航前にバッテリーの液量を確認し規定量入っていない場合は補水しましょう。
液量がない状態で使用すると劣化が進みバッテリーの寿命を縮める他、爆発の原因となります。



4. バッテリー「端子」の「腐食・ゆるみ」を確認

腐食がある時は整備や新替。ゆるみがある時はしっかり締めましょう。



5. バッテリーは「定期的に交換」しよう

バッテリーには寿命があり、消耗品です。
2～3年程度での定期的な交換をお勧めします。

そのバッテリー
交換時期かも！？